



はまぎし ひろかず
濱岸 宏一 氏

生年月日 昭和 18 年 11 月 10 日生

住 所 田辺市学園

昭和 18 年 (1943 年) 11 月 10 日、日高郡白崎村 (現由良町) に生まれる。昭和 43 年 (1968 年) 3 月に同志社大学大学院文学研究科修士課程修了後、中学校教諭、昭和 51 年 (1976 年) からは高等学校の教諭を歴任し、平成 16 年 (2004 年) 3 月に退職する。この間、36 年の長きにわたり学校教育の充実・向上に力を尽くした。

教職のかたわら紀南文化財研究会に属し、長年にわたり古墳、遺跡、民俗、神社の祭礼などの研究に取り組むとともに、昭和 48 年 (1973 年) からは同会の理事となり、以後副会長を経て、平成 25 年 (2013 年) からは会長として紀南地方の歴史研究を牽引している。

また、昭和 59 年 (1984 年) から現在まで長きにわたり市文化財審議会委員を務め、主に考古、民俗文化財の調査と指定・保存と文化財保護思想の普及に尽力する。平成 23 年 (2011 年) からは委員長として、審議会全体の運営にも携わり、田辺市の文化財保護行政に大きく貢献している。

さらに、南方熊楠についての研究にも取り組み、平成 18 年 (2006 年) に南方熊楠顕彰館が開館した後は学術スタッフとして、これまで大きく取り上げられなかった熊楠と田辺及び近辺の人々との交流に着目した展示を実施するなど、郷土に根差した顕彰を進めた。この間、南方熊楠邸保存顕彰会 (現南方熊楠顕彰会) 常任理事を務めた後、中瀬喜陽氏 [第 33 回 (平成 14 年) 田辺市文化賞受賞] の後を受け、平成 24 年 (2012 年) 4 月から平成 29 年 (2017 年) 3 月まで南方熊楠顕彰館の館長を務め、田辺市と南方熊楠顕彰会が官民協働で進める南方熊楠翁顕彰事業の推進に尽力した。

(学 歴)

昭和 37 年 (1962 年)

和歌山県立耐久高等学校卒業

昭和 43 年 (1968 年)

同志社大学大学院文学研究科修士課程修了

(職 歴)

昭和 43 年 (1968 年)

田辺市立明洋中学校教諭

第 48 回 (平成 29 年)

昭和 47 年 (1972 年)	中辺路町立中辺路中学校教諭
昭和 51 年 (1976 年)	和歌山県立田辺工業高等学校教諭
昭和 62 年 (1987 年)	和歌山県立田辺高等学校教諭
平成 16 年 (2004 年)	定年退職

(役職等)

昭和 48 年 (1973 年)	紀南文化財研究会理事 (平成 25 年～ 同会会長)
昭和 59 年 (1984 年)	田辺市文化財審議会委員 (平成 23 年～ 同会委員長)
平成 10 年 (1998 年)	和歌山県文化財保護指導委員
平成 15 年 (2003 年)	南方熊楠邸保存顕彰会 (現南方熊楠顕彰会) 常任理事
平成 20 年 (2008 年)	田辺市景観審議会委員
平成 22 年 (2010 年)	南方熊楠顕彰会学術部長
平成 24 年 (2012 年)	南方熊楠顕彰館館長

(受賞歴)

平成 17 年 (2005 年)	田辺市市政功労者表彰 (教育功労)
------------------	-------------------

(共 著)

昭和 55 年 (1980 年)	『田辺－ふるさと発見』(あおい書店)
平成 6 年 (1994 年)	『目で見る田辺・西牟婁の 100 年』(郷土出版社)
平成 29 年 (2017 年)	『写真アルバム 紀南の昭和』(樹林舎) ほか多数